

ポスター生成支援システム 要求仕様補足ドキュメント

はじめに

本文書は、先に提示されました「ポスター生成支援 システム仕様書 (ver. 20250531)」を補完し、システム開発プロジェクトにおける要求仕様をより明確に定義することを目的としています。特に、非機能要件、要求の優先順位、ビジネス上のルール、テストにおける検証基準、そして具体的なユーザーシナリオを詳細に記述することで、開発チームおよび関係者間での共通理解を深め、プロジェクトの円滑な推進と品質向上に貢献します。

1. 非機能要件

システムが提供する機能（何ができるか）だけでなく、その機能がどのような品質特性（どのように動作するか）を持つべきかを定義します。

1.1. 性能要件

システムの応答性や処理能力に関する要件です。

項目	具体的な要件	備考
ポスター生成処理時間	1件あたりのポスター生成処理は、平均300秒以内に完了すること。(ベタ版に限る制約で正式版の値は別途定義する)	ユーザーの待ち時間を短縮し、作業効率を向上させるため。
同時処理性能	同時に最大3件のポスター生成リクエストを並行して処理可能であること。(ベタ版に限る制約で正式版の値は別途定義する)	複数ユーザーによる同時利用や、一括処理のニーズに対応するため。
UI応答時間	各画面操作（画面遷移、ボタンクリック等）に対するシステムの応答は、原則として3秒以内に完了すること。	ユーザーがストレスなく快適に操作できるUIを提供するため。
大量データ処理時の性能（アーカイブ）	アーカイブに数千件規模のポスターデータが蓄積された場合でも、検索・一覧表示の応答速度が著しく低下しないこと（目標5秒以内）。	将来的なデータ増加を見越した設計とするため。

1.2. セキュリティ要件

不正アクセスや情報漏洩からシステムおよびデータを保護するための要件です。

項目	具体的な要件	備考
通信の暗号化	ユーザーのブラウザとウェブサーバー間の通信は、すべてHTTPS（SSL/TLS）により暗号化すること。	通信経路上でのデータの盗聴や改ざんを防止するため。
ユーザー認証	ログイン機能を利用する場合、登録されたメールアドレスとパスワードによる認証を行うこと。パスワードはハッシュ化して保存すること。	なりすましや不正アクセスを防止するため。ベータ版では認証を簡略化する可能性あり。
権限管理	システム管理者、店舗管理者、一般ユーザーなど、役割に応じたアクセス権限を設定し、許可された機能のみ操作できるようにすること。	情報の機密性や業務分掌を担保するため。将来構想として検討。
不正アクセス対策	短時間に複数回のログイン試行失敗があった場合、アカウントを一時的にロックする等の対策を講じること。	ブルートフォース攻撃などからの保護。将来構想として検討。
データ保護	生成されたポスターデータや個人情報（アカウント情報等）は、不正なアクセスから保護されるように適切なアクセス制御を行うこと。	機密情報の漏洩を防ぐため。
脆弱性対策	SQLインジェクション、クロスサイトスクリプティング（XSS）等の既知のウェブアプリケーション脆弱性に対する対策を施すこと。	セキュリティリスクを低減するため。

1.3. 可用性・信頼性要件

システムが安定して稼働し、ユーザーが必要な時に利用できる度合いに関する要件です。

項目	具体的な要件	備考
サービス稼働率	目標稼働率として99.5%以上を目指すこと（計画メンテナンス時間を除く）。	ユーザー業務への影響を最小限に抑えるため。
障害発生時の対応	ポスター生成処理中にエラーが発生した場合、ユーザーに状況を理解しやすいエラーメッセージを表示し、可能であれば再試行を促すこと。	ユーザーが混乱せず、次のアクションを取りやすくするため。
障害検知と通知	システムに重大な障害が発生した場合、システム管理者に自動的に通知する仕組みを設けること。	迅速な障害復旧対応を可能にするため。
データバックアップ	ユーザーデータ（生成ポスター、設定情報等）は、定期的にバックアップを取得し、障害発生時にはデータを復元できる体制を整えること（例：日次バックアップ）。	万一のデータ損失リスクに備えるため。

1.4. 保守性・運用性要件

システムのメンテナンスのしやすさや、運用管理の容易さに関する要件です。

項目	具体的な要件	備考
コードの可読性	ソースコードは、他の開発者が理解しやすいように、一貫したコーディング規約に従い、適切なコメントを付与すること。	将来の機能追加や改修を容易にするため。
設定変更の容易性	システムの基本的な設定値（例：AIモデルのAPIキー、データベース接続情報等）は、設定ファイル等で外部から容易に変更可能であること。	環境変更やメンテナンス時の作業負荷を軽減するため。
ログ管理	ユーザーの操作ログ、システムエラーログ、セキュリティ関連ログ等を記録し、問題発生時の原因調査や利用状況の分析に活用できるようにすること。	トラブルシューティングや不正利用の追跡のため。
デプロイの容易性	Docker Composeを利用し、単一VPS上での環境構築・デプロイが容易に行えること。	開発・検証・本番環境への展開を効率化するため。

1.5. 拡張性要件

将来的な機能追加やユーザー数の増加に対応できる能力に関する要件です。

項目	具体的な要件	備考
モジュール設計	機能単位でモジュール化された設計とし、新機能の追加や既存機能の変更が他の部分への影響を最小限に抑えて行えるようにすること。	開発効率の向上と、将来的なスケールアウトに対応しやすくするため。
AIモデルの柔軟性	ChatGPT, Claude, Gemini等、複数のAIモデルを将来的に利用または切り替えられるように、AI連携部分は疎結合なインターフェース設計とすること。	特定のAI技術への依存を避け、最適なモデルを適宜選択できるようにするため。
API連携	Pinterest API連携など、外部サービスとの連携を将来的に見据え、API連携が容易なアーキテクチャを考慮すること。	システムの機能を外部サービスと連携して強化できるようにするため。

1.6. アクセシビリティ要件

年齢や身体的条件に関わらず、多くのユーザーがシステムを利用しやすくするための要件です。

項目	具体的な要件	備考
WCAG準拠	Web Content Accessibility Guidelines (WCAG) 2.1 の達成基準レベルAAに準拠することを目指す。	より多くのユーザーが情報にアクセスし、利用できるようにするため。
キーボード操作	マウスを使わずに、キーボードのみですべての主要な機能が操作可能であること。	マウス操作が困難なユーザーや、キーボード操作を好むユーザーのため。
スクリーンリーダー対応	スクリーンリーダー（音声読み上げソフト）利用者が、コンテンツの内容を理解し、操作できるように、適切なHTMLマークアップや代替テキストを提供すること。	視覚障がいを持つユーザーが利用できるようにするため。
色のコントラスト	テキストと背景色のコントラスト比は、WCAGの基準を満たし、視認性を確保すること。	ロービジョン（弱視）のユーザーや、特定の環境下での視認性を向上させるため。
エラーメッセージの明確化	エラーが発生した場合、その内容と対処方法がユーザーに明確に伝わるように表示すること。	ユーザーがエラー原因を理解し、自己解決しやすくするため。

1.7. データ保持・管理要件

システムが取り扱うデータの保存期間や管理方法に関する要件です。

項目	具体的な要件	備考
ポスターデータ 保存期間	生成されたポスター関連データ（生成条件、PSD/PDFファイル等）は、原則として生成日から最長1年間保存すること。	ストレージ容量の効率的な利用と、古すぎるデータの整理のため。
アカウント情報 管理	ユーザーアカウント情報は、ユーザーが退会またはシステム管理者が削除するまで保持すること。	サービス提供に必要な情報として管理。
データ削除	保存期間を過ぎたデータ、またはユーザーからの削除要求があったデータは、適切かつ安全に削除できること。	プライバシー保護およびデータ管理ポリシーの遵守。

2. 機能要求の優先順位と分類

各機能要求に対して優先度を設定し、開発の順序やリソース配分の判断基準とします。ベータ版では中核機能の実現と検証を最優先とします。

2.1. 優先度定義

- **高 (Must):** システムの根幹を成す機能であり、ベータ版リリースまでに必ず実現する必要がある。これがないとシステムが価値を提供できない。
- **中 (Should):** 実現が強く望まれる機能。ベータ版での検証や、初期ユーザーの満足度向上に貢献する。リソースや期間の制約により、一部簡略化や次フェーズでの実装となる可能性もある。
- **低 (Want):** あると良いが付加価値的な機能。ベータ版では実装対象外とし、将来の公式版開発で検討する。

2.2. 機能一覧と優先度・分類

要求 ID	機能名（仕様書画面 ID/名称参考）	優先度	必須/選択	ベータ版スコープ	備考
F001	かんたん条件生成によるポスター作成 (010-016)	高	必須	実装 (主要検証項目)	ポスターサイズ、種別、日付、時間、キャッチコピー、機種情報（最大6台）の入力と生成実行。
F002	ポスター生成処理と進捗表示 (017)	高	必須	実装	生成中のプログレスバー表示、キャンセル機能。
F003	ポスター生成完了表示と結果確認 (018, 019)	高	必須	実装	ベータ版の主要検証項目ではないため。
F004	ポスターアーカイブ一覧表示 (007)	低	選択	省略	ベータ版の主要検証項目ではないため。
F005	ポスターアーカイブ詳細表示と再利用 (008)	低	選択	省略	詳細モーダルでのポスタープレビュー、生成条件表示、PDF/PSDダウンロード、「条件をコピーして生成」。テキスト修正再生成は優先度検討。
F006	ポスター生成方式選択 (006)	中	必須	実装 («プロンプトから生成»は機能制限または案内表示)	「かんたん条件生成」への導線が主。「プロンプトから生成」は将来構想であり、ベータ版では実質的に機能しない。左パネルの情報表示は簡略化または固定値。
F007	ログイン機能 (001)	低	選択	省略または大幅に簡略化 (特定ユーザーのみアクセス可能な簡易認証等)	迅速な機能検証のため、認証機能は最小限または省略。

要求ID	機能名（仕様書画面ID/名称参考）	優先度	必須/選択	ベータ版スコープ	備考
F008	パスワード再発行機能 (002)	低	選択	省略	ログイン機能の簡略化に伴い、ベータ版では実装しない。
F009	お知らせ閲覧機能 (003, 005の一部)	低	選択	省略	ベータ版の主要検証項目ではないため。
F010	ログアウト機能 (004)	低	選択	省略または大幅に簡略化	ログイン機能の簡略化に伴う。
F011	ユーザー基本設定 (009)	低	選択	省略または大幅に簡略化	アカウント名変更等の機能はベータ版の主要検証項目ではないため。
F012	プロンプトから生成 (020-022)	低	選択	実装対象外 (将来構想)	GPT-4レベル対話モデル、Pinterest連携、画像アップロード連携など、高度なAIチャット機能は将来の公式版開発で検討。

3. ビジネスルールおよび制約条件

システム運用や機能利用における具体的な規則や制限事項を定義します。

3.1. 利用制限

項目	ルール・制約	備考
ポスター生成回数	店舗ごとの月間生成回数上限を設ける（例：700回）。法人全体での上限も設定可能（例：800回）。	システムリソースの公平な利用と、サービスプランに応じた制限のため。上限値は運用開始後調整の可能性あり。
アカウント利用	原則として1ユーザーアカウントは1名が利用すること。複数名での共有は非推奨。	利用状況の追跡やセキュリティのため。ベータ版ではアカウント管理が簡略化される可能性あり。

3.2. コンテンツ制約

項目	ルール・制約	備考
機種掲載数	「かんたん条件生成」において、1枚のポスターに掲載できる機種情報は最大6枚まで対応。 (将来的に最大10台程度を想定)	ポスターデザインの可読性と、システム処理負荷を考慮した制限。
ポスターサイズ	「かんたん条件生成」で選択可能なポスターサイズは、予め定義された選択肢（例：A版・縦、A版・横など、類似システム「ポパイ」準拠）に限定する。	ユーザーの利便性と、デザインテンプレートの標準化のため。自由リサイズ機能は将来構想。
使用可能画像	ポスター生成に使用する画像素材は、原則としてシステム提供の素材、店舗が権利を有する素材、またはユーザーがアップロードし権利関係がクリアな素材に限る。	著作権侵害を避けるため。Pinterest API連携（将来構想）時は、API提供元の利用規約を遵守。
禁止コンテンツ	公序良俗に反する内容、著作権を侵害する内容、その他法令に違反するコンテンツの生成は禁止する。	システムの健全な運用のため。

3.3. ユーザー管理・権限

項目	ルール・制約	備考
アカウント情報変更	ユーザーは自身のアカウント名（表示名）を変更可能。店舗名（ホール名）はシステム管理者によって設定され、ユーザー自身では変更不可とする。	ベータ版ではユーザー設定機能自体が省略または大幅に簡略化される可能性あり。
権限（将来構想）	システム管理者、店舗代表者、一般店舗スタッフなど、役割に応じた権限を設定し、利用可能な機能を制限する。	セキュリティと運用管理の効率化のため。ベータ版では考慮しない。

3.4. データ管理ルール

項目	ルール・制約	備考
データ 保存期 間	生成されたポスターデータ（PSD/PDFファイル、生成条件など）は、生成日から最長1年間システムに保存する。期間経過後は自動削除または手動削除の対象となる。	ストレージ容量の最適化と、情報管理ポリシーに基づく。
アーカ イブ管 理	生成されたポスターは自動的にアーカイブに保存され、ユーザーは自身の店舗が生成したポスターを閲覧・再利用可能とする。	過去事例の参照や、効率的な再作成のため。他店舗データの閲覧可否は権限設定（将来構想）による。

4. 要求仕様のトレーサビリティ（追跡性）

各要求がシステムのどの部分に関連し、どのようなビジネス目的を達成するために存在するのかを追跡可能にすることで、仕様変更時の影響分析やテストの網羅性確認を容易にします。

4.1. 追跡性の目的

- **変更管理の効率化:** ある要求の変更が、システムのどの機能や画面に影響を与えるかを迅速に特定できます。
- **テストの網羅性向上:** すべての要求がテストケースによってカバーされているかを確認しやすくなります。
- **開発の透明性確保:** 各機能がどの要求に基づいているかを明確にし、開発の方向性を維持します。
- **顧客との合意形成:** 要求と成果物の関連を示すことで、顧客との認識齟齬を防ぎます。

4.2. 要求IDと関連要素のマトリクス例

以下は、要求ID、関連する画面ID（仕様書参照）、機能概要、およびビジネス上の目的や価値を結びつけたトレーサビリティマトリクスの例です。

要求ID	要求内容（概要）	関連画面ID (仕様書)	関連機能/モジュール	ビジネス目的・価値
F001	かんたん条件によるポスター作成	006, 010-016	ポスター生成エンジン、UI入力フォーム	専門知識なしで高品質ポスターを迅速作成、業務効率化、集客力向上
F002	ポスター生成処理と進捗表示	017	バックエンド生成処理、フロントエンドUI表示	ユーザーに処理状況をフィードバック、安心感提供、長時間待機による離脱防止
F003	生成完了表示と結果確認、ダウンロード	018, 019	UI表示、ファイルダウンロード機能	生成結果の即時確認、多様な形式での出力、印刷や二次利用の容易化
F004	アーカイブ一覧表示と簡易検索/フィルタ	007	アーカイブ管理機能、データベース検索	過去作成ポスターの効率的な検索・参照、ナレッジ共有、類似案件での再利用促進
F005	アーカイブ詳細表示と条件コピー再生成	008	UI表示、条件コピーロジック	詳細確認によるミスの防止、類似ポスター作成時の手間削減、作業効率向上
NF001	性能: 生成時間30秒以内	017 (バックエンド処理全体)	画像処理、レイアウトエンジン、AI連携	ユーザーの待ち時間削減、ストレス軽減、高い生産性の維持
NF002	セキュリティ: HTTPS通信	全画面	Webサーバー設定、SSL/TLS証明書	通信盗聴・改ざん防止、ユーザーの信頼確保、個人情報保護
NF003	可用性: 障害時エラーメッセージ表示	全機能（エラー発生時）	エラーハンドリング機構	ユーザーの混乱防止、原因究明の手がかり提供、迅速な問題解決支援
NF004	アクセシビリティ: キーボード操作対応	UIコンポーネント全般	フロントエンド実装	より多くのユーザーが利用可能、多様な利用環境への配慮、法的要請への対応準備（将来的なコンプライアンス）

※ このマトリクスは、開発が進むにつれて、より詳細な機能モジュールやテストケースIDとも関連付けて拡充していくことが望ましいです。

5. テスト方針および検証基準

開発されたシステムが要求仕様を満たしていることを確認するためのテスト活動の方針と、各テスト項目における合格基準を定義します。

5.1. テストの目的と範囲

- **目的:**
 - システムが定義された機能要求および非機能要求をすべて満たしていることを検証する。
 - 欠陥（バグ）を検出し、修正することにより、システムの品質を確保する。
 - ユーザーが期待通りにシステムを利用できることを確認する。
- **範囲:**
 - 本要求仕様補足ドキュメントおよび元のシステム仕様書に記載されたすべての機能と画面。
 - 特にベータ版のスコープとして定義された機能（優先度「高」および「中」の一部）を重点的にテストする。
 - 性能、セキュリティ、ユーザビリティ（使いやすさ）に関する非機能要件も可能な範囲でテストする。

5.2. 主要機能のテスト項目と検証方法・合格基準

テスト項目カテゴリ	主要な検証内容	検証方法（例）	合格基準（例）
かんたん条件生成	1. 全ての必須項目（サイズ、種別、日付、時間、キャッチコピー、機種名等）を入力し、ポスターが正常に生成されること。	- 指定された全条件を入力し、「生成」ボタン押下。 - 生成完了画面に遷移し、指定条件が反映されたポスターサムネイルが表示されること。	- 生成処理がエラーなく完了する。 - 生成されたポスターのプレビューが指定条件を概ね満たしている。 - PDF/PSDファイルが指定条件でダウンロード可能。
	2. 機種情報を最大10台まで入力し、ポスターが生成されること。	- 機種情報を1台から10台まで段階的に増やして入力し、生成を実行。	- 6台までの機種情報がポスターデザインに反映される（レイアウトはAI自動調整に依存）。 - 11台以上の入力がUI上制御される（例：追加ボタン非活性化）。
	3. 必須項目が未入力の場合、「次へ」または「生成」ボタンが非活性であるか、クリック時にエラーメッセージが表示されること。	- 各必須項目を意図的に空欄または不正な値（例：日付形式誤り）で入力し、ボタンの状態やエラー表示を確認。	- ボタンが非活性であるか、クリック時に適切なエラーメッセージ（例：「機種名は必須です」）が表示され、処理が中断される。
アーカイブ機能	1. 生成されたポスターがアーカイブ一覧に正しく表示され、サムネイルクリックで詳細モーダルが開くこと。	- 複数のポスターを生成後、アーカイブ一覧画面を開く。 - 各サムネイルをクリック。	- 生成履歴が一覧に反映されている。 - サムネイルクリックで対応するポスターの詳細モーダルが表示され、プレビューと生成条件が正しい。
	2. アーカイブ一覧での主要なフィルタ（日付範囲、ポスターサイズ、ポスター種別等）が機能すること。	- フィルタ条件を指定し、表示結果が絞り込まれるか確認。	- 指定したフィルタ条件に合致するポスターのみが一覧に表示される。 - フィルタ解除で全件表示に戻る。

テスト項目 目力 デゴ リ	主要な検証内容	検証方法（例）	合格基準（例）
	3. アーカイブ詳細モーダルから「条件をコピーして生成」機能が動作し、かんたん条件生成画面に条件が引き継がれること。	- アーカイブ詳細モーダルで「条件をコピーして生成」ボタン押下。	- かんたん条件生成の各ステップに、コピー元のポスターの生成条件が正しくプリセットされている。
進捗 表 示・ 中断	1. ポスター生成中に進捗バーが表示され、おおよその進捗状況が視認できること。	- ポスター生成を実行し、生成中画面の表示を確認。	- 進捗バーが0%から100%（または完了を示す状態）に向けて増加するアニメーションが表示される。
	2. 生成中に「生成を中止する」ボタンが機能し、処理が中断されること。	- 生成中に「生成を中止する」ボタンを押下。	- 生成処理が中断され、元の画面（例：生成方式選択画面）に戻るか、中止完了のメッセージが表示される。 - 中断した場合、不完全なポスターデータがアーカイブに残らない。
ファ イル 出力	1. 生成完了画面またはアーカイブ詳細モーダルから、PDF形式およびPSD形式のポスターファイルがダウンロードできること。	- 各ダウンロードボタンをクリックし、ファイルが保存されるか確認。 - 保存されたファイルを開き、内容を確認。	- 正常にファイルがダウンロードされ、破損なく開けること。 - PDFは印刷に適した品質であること。 - PSDはレイヤー構造が保持されていること（デザインによる）。
性能	1. 通常条件（機種1-3台程度）でのポスター生成処理が平均300秒以内に完了すること。	- ストップウォッチ等で複数回計測し、平均時間を算出。	- 5回試行の平均処理時間が30秒以内である。

テスト項目カテゴリ	主要な検証内容	検証方法（例）	合格基準（例）
セキュリティ(簡易)	1. (ベータ版で簡易認証を設ける場合) 許可されたユーザーのみがシステムにアクセスできること。	- 事前に設定した認証情報でログイン試行。 - 不正な認証情報でログイン試行。	- 正しい認証情報でログイン成功。 - 不正な認証情報ではログインできず、エラーメッセージが表示される。
ユーザビリティ	1. 各画面の操作フローが直感的で、ユーザーが迷いにくいこと。エラーメッセージが分かりやすいこと。	- 複数のテストユーザーによる探索的テスト、ヒューリスティック評価。	- 重大なユーザビリティ上の問題（例：操作方法が不明瞭、目的の機能にたどり着けない等）が指摘されない。 - エラーメッセージの内容が具体的で、ユーザーが次の行動を判断しやすい。

6. ユーザーシナリオ（ユースケース）

システムが実際にどのように利用されるかを具体的な物語形式で記述し、開発者や関係者がユーザーの視点や体験を共有できるようにします。

6.1. シナリオ1: 店舗スタッフAさんによる新台入替ポスターの簡単作成

- **登場人物:** Aさん（パチンコホールの店舗スタッフ。ポスター作成の専門知識はあまりないが、日々の業務で簡単なPC操作は行っている。）
- **目的:** 近日導入予定の新台「P大海物語5」の告知ポスターを、開店前に店内に掲示するために迅速かつ簡単作成したい。
- **背景:** Aさんの店舗では、これまでポスター作成を外部業者に依頼したり、店長が時間をかけて手作業で行っていた。Poster-Ai（仮称）の導入により、店舗スタッフ自身で手軽に作成できるようになった。
- **操作フローとAさんの思考:**
 1. **システムアクセス:**
 - Aさんは、店舗PCのブラウザからPoster-AiのURLにアクセスする。
 - （ベータ版で認証が省略されている場合、直接「ポスター生成方式選択画面」が表示される。）
 - Aさん：「よし、新しいポスター作成システムを使ってみよう。まずは新台のポスターだ。」
 2. **生成方式選択 (画面ID: 006):**
 - 「かんたん条件生成」と「プロンプトから生成」のボタンが表示されている。
 - Aさん：「初めて使うから、まずは『かんたん条件生成』でやってみよう。」
 - Aさんは「かんたん条件生成」ボタンをクリックする。
 3. **Step 1 基本設定 (画面ID: 010):**
 - 「ポスターサイズ」「ポスター種別」「(予定)表記」の選択項目が表示される。
 - Aさん：「サイズはA版・縦で、種類は『新台入替』。今回は導入日が確定してるから『(予定)表記』は『しない』でいいな。」
 - それぞれの項目を選択し、「次へ」ボタンをクリックする。
 4. **Step 2 共通情報 (画面ID: 011-013):**
 - 「日付」「時間」「キャッチコピー」の入力欄が表示される。
 - Aさん：「導入日は来週の月曜日、2025年6月16日の午前10時オープンだ。カレンダーと時計アイコンで簡単に入力できるな。キャッチコピーは...『待望の最新作、P大海物語5登場！』でどうかな。」
 - 日付と時間を入力し、キャッチコピーを記入して「次へ」ボタンをクリックする。
 5. **Step 3 機種情報入力 (画面ID: 014-016):**

- 「機種名」「台数」「機種種別」「機種レート」の入力欄が表示される。
- Aさん：「機種名は『P大海物語5』。検索候補が出てくるから入力が楽だ。今回は5台導入で、もちろん『新台』。レートは『4円パチンコ』だな。」
- 各情報を入力する。今回は1機種のみなので、「+追加」ボタンは使用しない。
- Aさん：「これで全部入力できたかな。『生成』ボタンが押せるようになったぞ。」
- 「生成」ボタンをクリックする。

6. ポスター生成中 (画面ID: 017):

- 「ポスターを生成しています...」というメッセージと進捗バーが表示される。
- Aさん：「少し時間がかかるみたいだけど、進捗が見えるから安心だ。」

7. ポスター生成完了 (画面ID: 018):

- 複数のデザインバリエーションのポスターサムネイルが表示される。
- Aさん：「お、できた！いくつかパターンがあるんだな。この右上のデザインが良さそうだ。」
- 気に入ったポスターのサムネイルをクリックする。

8. ポスター詳細確認モーダル (画面ID: 019):

- 選択したポスターの拡大プレビューとダウンロードボタンが表示される。
- Aさん：「うん、これでバッチリだ。PDFでダウンロードして、カラープリンターで印刷しよう。」
- 「PDFダウンロード」ボタンをクリックし、ファイルを保存する。

9. アーカイブ確認 (Aさんの思考):

- Aさん：「これで今日の作業は終わり。作成したポスターは自動でアーカイブに保存されるらしいから、後で確認したり、似たようなポスターを作るときに便利そうだな。」

6.2. シナリオ2: 店舗スタッフBさんによる既存ポスターの再利用と条件一部変更

- **登場人物:** Bさん（パチンコホールの経験豊富なスタッフ。以前にもPoster-Aiを利用してポスターを作成したことがある。）
- **目的:** 先月作成した「リフレッシュオープン」のポスターをベースに、今月実施する「リフレッシュオープン第二弾」のポスターを作成したい。日付とキャッチコピーだけ変更すれば良さそうだ。
- **背景:** Bさんは、毎回ゼロからポスターを作成する手間を省きたいと考えている。アーカイブ機能と条件コピー機能を活用して効率的に作業を進めたい。
- **操作フローとBさんの思考:**
 1. **システムアクセスとアーカイブ画面へ移動:**
 - Bさんはシステムにアクセスし、ナビゲーションメニューから「アーカイブ」を選択する。
 - Bさん：「確か先月作ったリフレッシュオープンのデータが残っているはずだ。」
 2. **アーカイブ一覧画面 (画面ID: 007):**
 - 過去に生成したポスターが一覧表示される。
 - Bさん：「たくさんあるな...そうだと、フィルタで『ポスター種別』を『リフレッシュオープン』にして、日付も先月あたりで絞り込もう。」
 - フィルタ機能を使い、目的のポスターを探しやすくする。該当のポスターサムネイルを見つける。
 - Bさん：「あった、これだ。」
 - 目的のポスターサムネイルをクリックする。
 3. **ポスターアーカイブ詳細モーダル (画面ID: 008):**
 - 選択したポスターのプレビューと生成条件、各種ボタンが表示される。
 - Bさん：「うん、このデザインと機種構成はそのまま使いたいな。『条件をコピーして生成』を使えばいいんだっけ。」
 - 「条件をコピーして生成」ボタンをクリックする。
 4. **かんたん条件生成 Step 1 基本設定 (画面ID: 010) へ遷移:**
 - 前回のポスターの基本設定（サイズ、種別など）が引き継がれた状態で画面が表示される。
 - Bさん：「サイズと種別はこれでOK。」
 - 「次へ」ボタンをクリックする。
 5. **かんたん条件生成 Step 2 共通情報 (画面ID: 011) で条件変更:**
 - 前回の共通情報（日付、時間、キャッチコピー）が引き継がれている。
 - Bさん：「ここを変更するんだった。日付は今月の15日で、時間は同じく10時。キャッチコピーは『大好評につき第二弾！さらに快適空間へ！』にしよう。」

- 日付とキャッチコピーを新しい内容に修正する。時間は変更なし。
- 「次へ」 ボタンをクリックする。

6. かんたん条件生成 Step 3 機種情報入力 (画面ID: 014) の確認:

- 前回の機種情報が引き継がれている。
- Bさん：「機種構成は前回と同じで問題ないな。」
- 内容を確認し、「生成」ボタンをクリックする。

7. ポスター生成処理 (画面ID: 017, 018, 019):

- （シナリオ1と同様に、生成中画面を経て、生成完了画面で結果を確認し、ファイルをダウンロードする。）
- Bさん：「日付とキャッチコピーだけ変えて、あっという間に新しいポスターができた。これは便利だ！」

おわりに

本文書が、ポスター生成支援システムの開発プロジェクトにおいて、より明確な指針となり、関係者各位の円滑なコミュニケーションと高品質なシステム構築の一助となれば幸いです。本書はシステム開発の進捗や、お客様からのフィードバックに応じて、適宜更新される可能性があります。

ご不明な点や、さらに詳細な情報が必要な場合は、お気軽にお問い合わせください。